地域の特色を活かした産業振興 Industrial Development and Promotion utilizing local resources  継続		
<b>対象国の条件:</b> 日本の地域産業振興施策を真摯に学びその模倣/実現を図ろうとする国/地域		
研修コース番号:J1804372 <b>案件番号:</b> 1884846		
主分野課題:民間セクター開発/その他民間セクター開発		
<b>副分野課題 :</b> 民間セクター開発/観光 <b>使用言語 :</b> 英語		
<b>案件概要</b>		
各国各地域の研修員が、北陸地域の風土、文化、歴史、伝統や、産業振興の歴史、それらを踏ま 仕組み、組織体制等について学び、研修員の母国や担当する地域の状況に応じて、北陸地域にお 研修として実施するもの。	ミえた産業集積 らける取組の模	で現状、それらを可能にする 低を促す機会を提供すべく、
目標/成果	対象組織/人材	
【案件目標】 各国各地域の研修員が、日本の地方における、地域の特色を活かした産業振興の事例を元に、 各国各地域の現状に応じた産業振興施策を検討し、実施することが出来るようになることを目 指す。	【対象組織】 中央省庁の地 部門、地方自	方における産業振興施策担当 治体の産業振興施策担当部門 会等民間経済団体
【成果】 (1)参加各国の地場産業を生かした産業振興の現状分析ができる。	【対象人材】 産業振興施策担当者/在職1年以上/施策案	
(2) 北陸地域の特色を生かした産業振興の実態を理解する。	を対象とする国や地域のために熱意をもって て おり強く執り進めることが出来ること	
(3) 地場産業を生かした産業振興の進め方の理解を深める。		
(4) 産官学が連携した産業振興への関わりを理解する。		
(5) 本研修を通じて得た学びを踏まえ、地域の特色を活かした産業振興に繋がるアクション		
プランを提案する。		
内 容		2018/7/8~2018/8/4
講義及び視察:北陸の各県、各地域において、様々な代表的な名産品が生み出された歴史的な背景や状況等を、具体的に乗り越えてきた困難な状況、問題、それらへの対応策等を含めて、関係者による講義や現場視察等を通じて学ぶ。	本邦研修期間	
視察先:富山(薬)、金沢(観光、織物)、福井(めがね)、石川(漆器)	- 14 水細膜斑	産業開発・公共政策部
	1日 日 100 (100 (100 (100 (100 (100 (100 (	JICA北陸
	所管国内機関	
	明核少亡	
	関係省庁 実施年度	2016~2018
公益財団法人 太平洋人材交流センター	大ル十尺	2010 2010
主要協力機関 特記事項 及び ホームページ		